



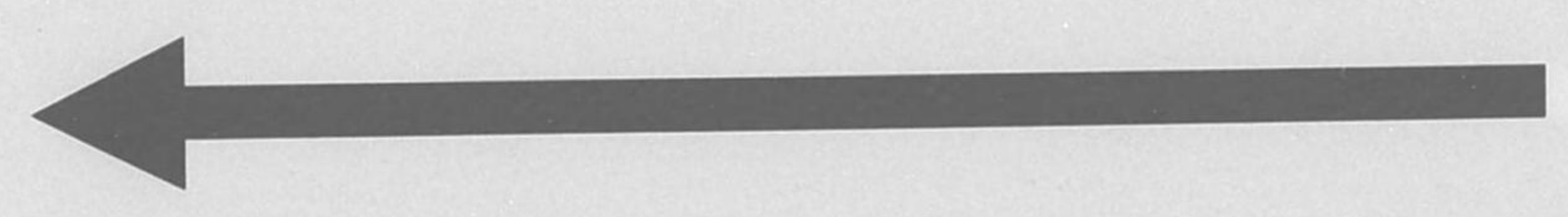
408

4

Ⓜ



始



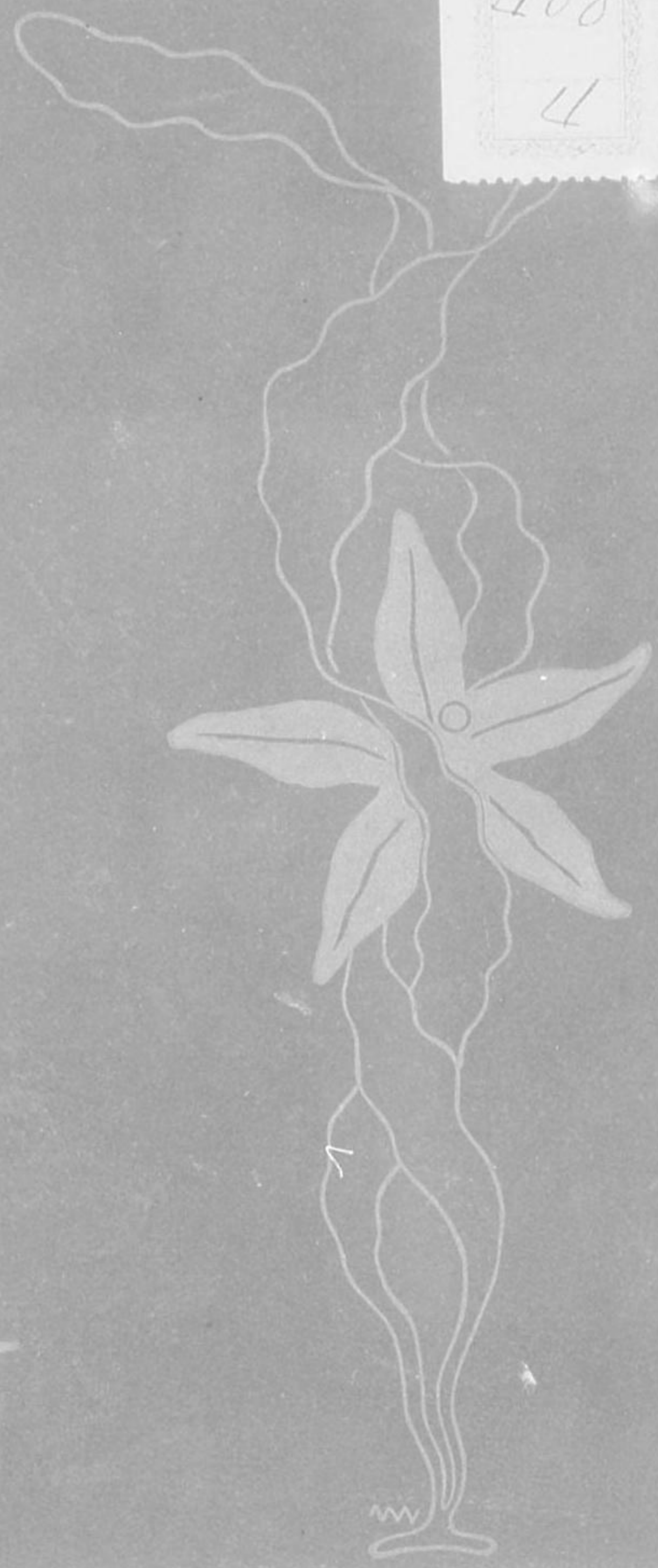
408  
4

溫故寫真帖

第一集

札幌

東北帝國大學農科大學



408-4

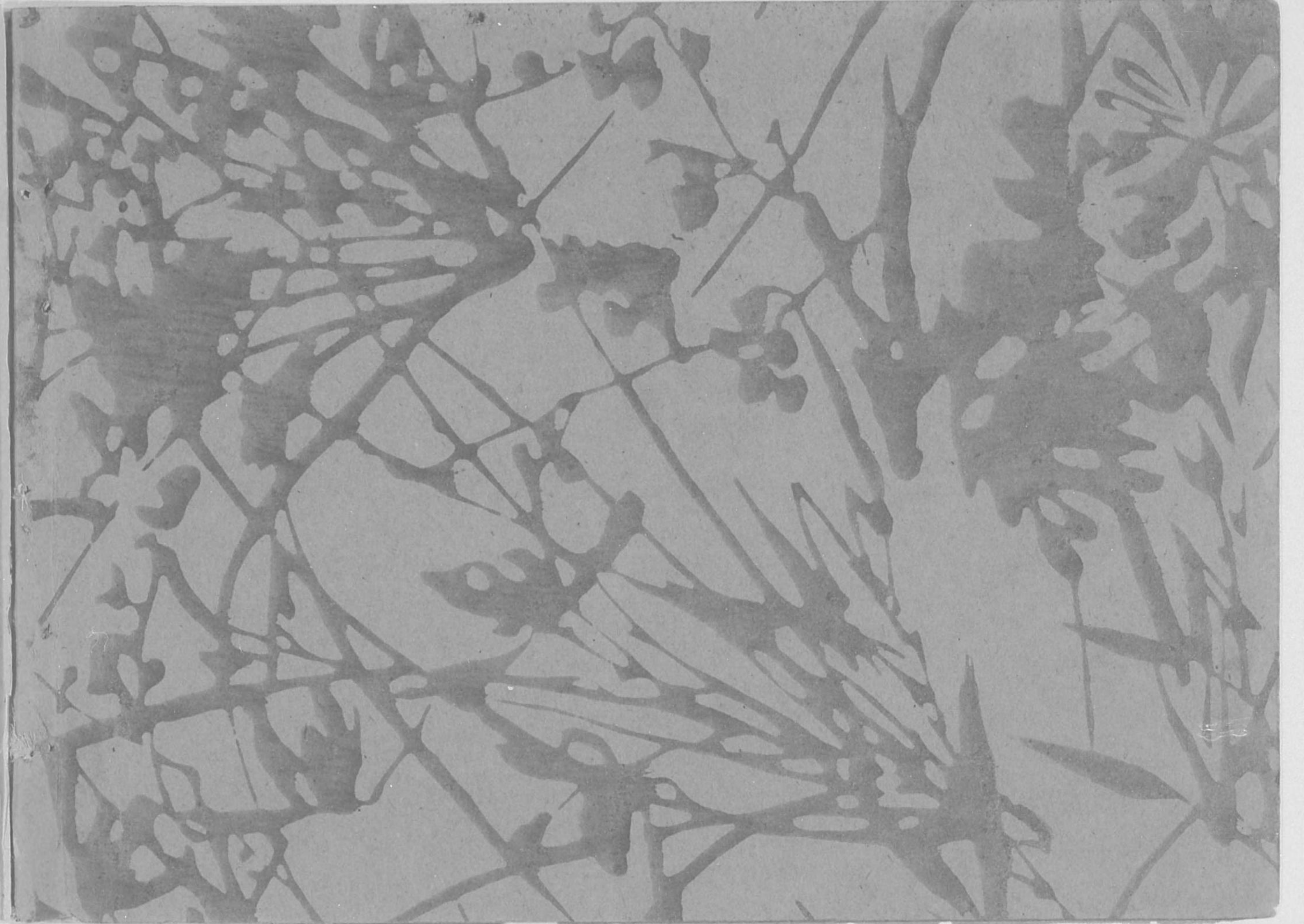
# 溫故寫真帖

第一集

札 幌

東北帝國大學農科大學

明治  
42 1  
丙交



溫故寫真帖第一集題言

凡ソ社會ノ事物ハ常ニ推移變遷シテ止マズ古今盛衰文野ノ由テ  
分ル所ナリ特ニ北海道ノ如キ新開地ニ於テ最モ其甚シキモノア  
リ故ニ昨ノ見テ以テ荒涼寂寞ノ境ト做セシモノ今ハ忽チ變シテ  
繁華熱鬧ノ區ヲ成スモノ指ヲ屈スルニ遑アラス試ニ札幌ニ就テ  
之ヲ視ルモ明治初年ノ景况ヲ以テ今日ニ比スルトキハ其差異天  
淵管ナラス苟モ當時ノ事情ヲ知ラント欲セハ固ヨリ文書ノ記錄  
ニ乏シカラスト雖モ眼ノアタリ其變化ノ跡ヲ比較セント欲セハ  
寫真ヲ觀ルヨリ便ナルハナシ幸ニ本道各地舊時ノ寫真本學圖書  
館ニ藏スルモノ少カラス因テ先ツ札幌ニ係ルモノ數種ヲ複寫シ  
之ニ現今ノモノヲ加ヘ印刷世ニ公ニシ以テ今世ノ變遷ヲ知ルニ  
便ス是レ亦溫故知新ノ一助タルニ庶幾カラシカ若シ夫レ函館小  
樽其他各地ノ舊物ハ尙ホ時機ヲ視テ發表スル所アラントス

明治四十二年九月

東北帝國大學農科大學

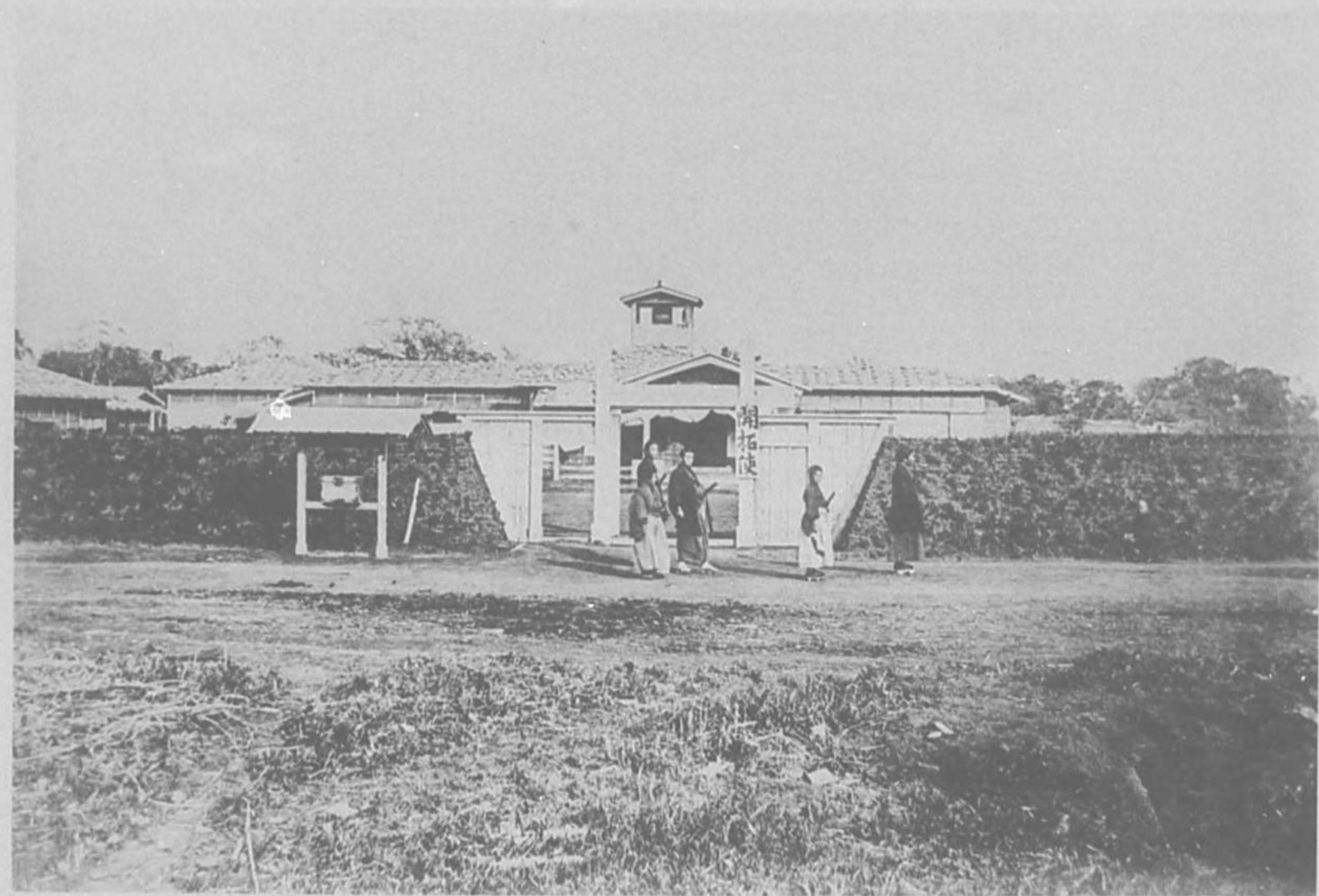
明治六年ノ札幌

明治二年十一月判官島義勇札幌ニ來リ開拓使官舎ヲ西創成通今ノ北一條西一丁目ニ建立スコレ吾カ札幌創業ノ始トス三年二月島判官轉シ三月岩村大判官赴任シテ榛莽ヲ伐リ通路ヲ開キ粗ホ經營スル處アリ四年五月市街地ヲ六十間ニ區劃シ道幅ヲ十一間ニ裏道ヲ六間ト定ム當時創成川筋今ノ豊平館東南隅ノ邊ニ關門ヲ設ケ南ヲ町地北ヲ官宅地ト稱シ井然タル區劃ノ中間ニ幅五十間ノ廣街ヲ開キ火防線トセリ(今ノ大通)此ノ時ノ町地區劃ハ今ノ南一條ヨリ南四條ニ至リ西ハ五丁目東ハ三丁目マテニシテ、街衢ノ名稱ハ南北トモニ之レヲ通ト稱シ名ツクルニ北海道國郡ノ名ヲ以テシ札幌ノ人士ヲシテ坐ラ全道國郡ノ名ヲ知ラシム。



開拓使假廳舎

東創成通今ノ北四條東一丁目ニアリ、明治四年三月建築ニ着手シ  
四月落成シ五月札幌開拓使廳ヲ此ニ置ク其構造ハ平屋ニシテ建  
坪五十三坪經費千三百十一圓餘ヲ要セリ、大鼓櫓アリ毎時太鼓ヲ  
打チテ時ヲ報ス此圖ハ明治五年ノ撮影ニ係リ門前ニアルハ官吏  
ニシテ髪ヲ結ヒ袴ヲ穿チ刀ヲ帶ヘリ。



開拓使假廳舎

開拓使本廳舎

開拓使本廳舎ハ今ノ北海道廳舎ノ處ニアリ、雇米國人ケブロンノ  
計畫ニヨリ明治五年七月建築ニ着手ス、之カ爲メ大工木挽鍛冶等  
ノ諸職工千二百二十五名ヲ東京ヨリ招募シ、六年十月竣工ス、其經  
費三萬千二百九圓餘、構造ハ堅牢ヲ主トシ、廣百六十八坪餘、桁行十  
六間六分六厘、梁間十間三層樓ニシテ、地上ヨリ八角座ニ至ル高十  
四間一尺餘ナリ。



開拓使本廳舎

札幌神社

明治二年島判官ノ奉護シ來リタル札幌神社ノ神靈ハ三年春今ノ  
北六條東一丁目ニ小祠ヲ建テ奉祀セシカ四年四月東久世長官圓  
山ノ地ヲ檢分シテ宮地ト定メ六月假宮ヲ建築ス宮ノ建坪九坪二  
合五勺ニシテ其形狀ハ鎌倉大塔宮ヲ摸セリト云フ九月十五日遷  
祀シ奉ル。

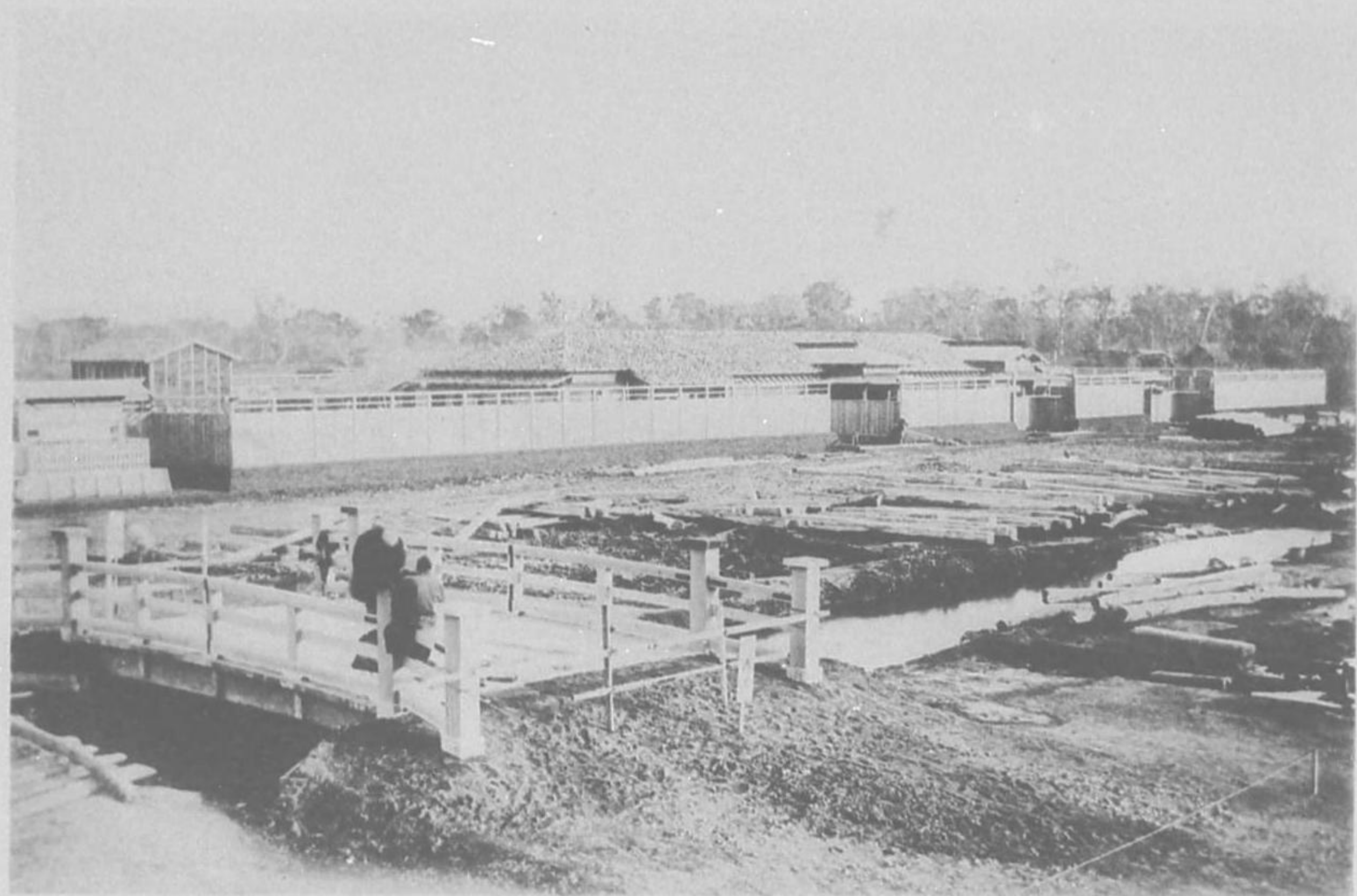


札幌神社



札幌本陣

明治四年五月東創成通今ノ南一條東一丁目ニ旅館ヲ新築シ七月竣功ス其建坪二百四十五坪餘經費七千八百四十二圓餘之ニ板厩物置人足溜所厩等ヲ附屬ス當時之ヲ本陣ト稱ス蓋シ開拓創始ノ際官民ノ宿泊スル所ナキヲ以テ官殊ニ之ヲ設ケタルナリ此圖ハ創成川ヲ隔テ西方ヨリ見タルモノニシテ明治五年ノ撮影ニ係ル本陣ノ左方ニアアルハ制札塲ナリ



札幌本陣

札幌本陣ヨリ西南ヲ望ム

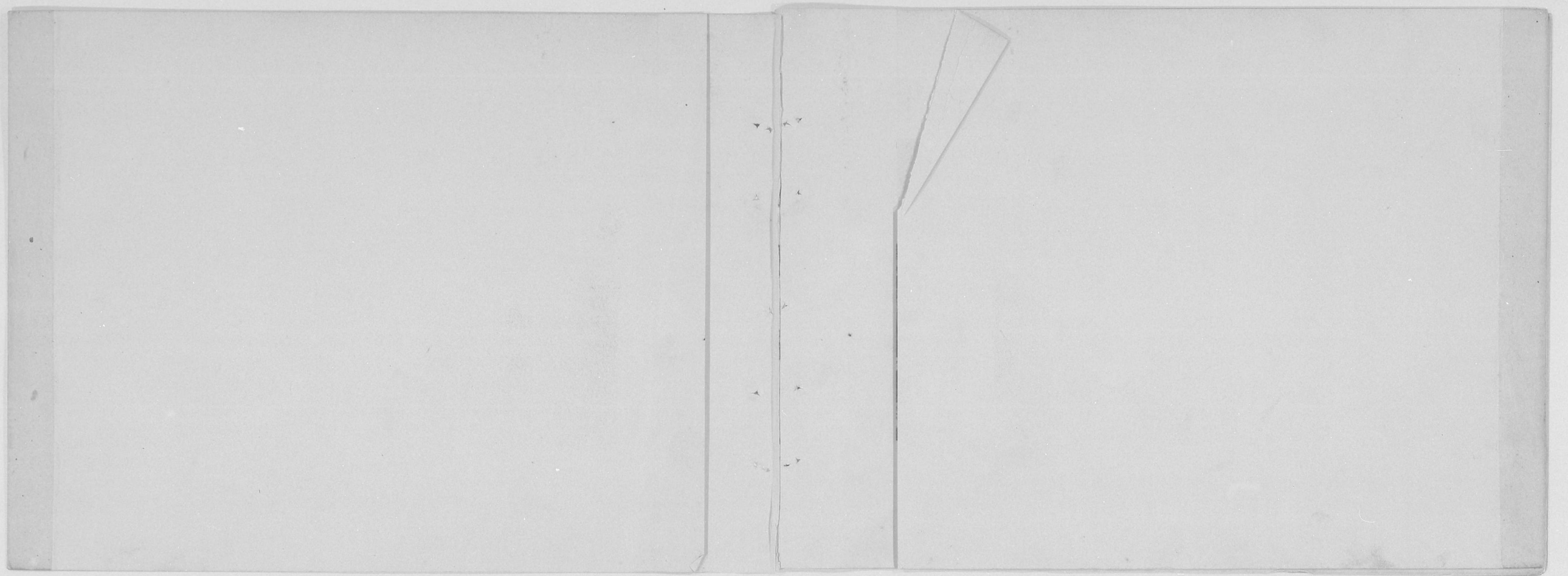
札幌開拓ノ初ニ當リテハ其地樹林草原略ホ相半シ、フシコサツボ  
ロ川大友堀其他數條ノ小流アリテ不規律ニ貫流シ間々卑濕ノ地  
ヲ交ヘタリ、此圖ハ本陣ヨリ西南方ヲ望ミタルモノニシテ其川ハ  
蓋シ膽振川後改修シテ膽振通即チ西二丁目ヲ流レシヲ以テ名ツ  
クノ一部分ナラン、山ハ即チ藻岩山ナリ。



▲ 望ヲ南西リヨ陣本札幌

明治五年ノ札幌東部

此圖ハ明治五年創成川ノ西ニアリテ該川ノ東部ヲ寫シタルモノ  
リ、左右ニ見ユル溝渠ハ創成川ノ各一部トシ右方柵ヲ構ヘタル  
一團ノ家屋ハ此年五月雇米國人ノ設計ニヨリ創設セル器械所ニ  
シテ蒸氣木挽所木工仕上所及鍛工所等ヨリ成リ今ノ北一條東一  
丁目ニ當ル、又左方ニアリテ土壘ヲ繞ラセル建物ハ前ニ出セル開  
拓使假廳舎ニシテ北四條東一丁目ニ當レリ。





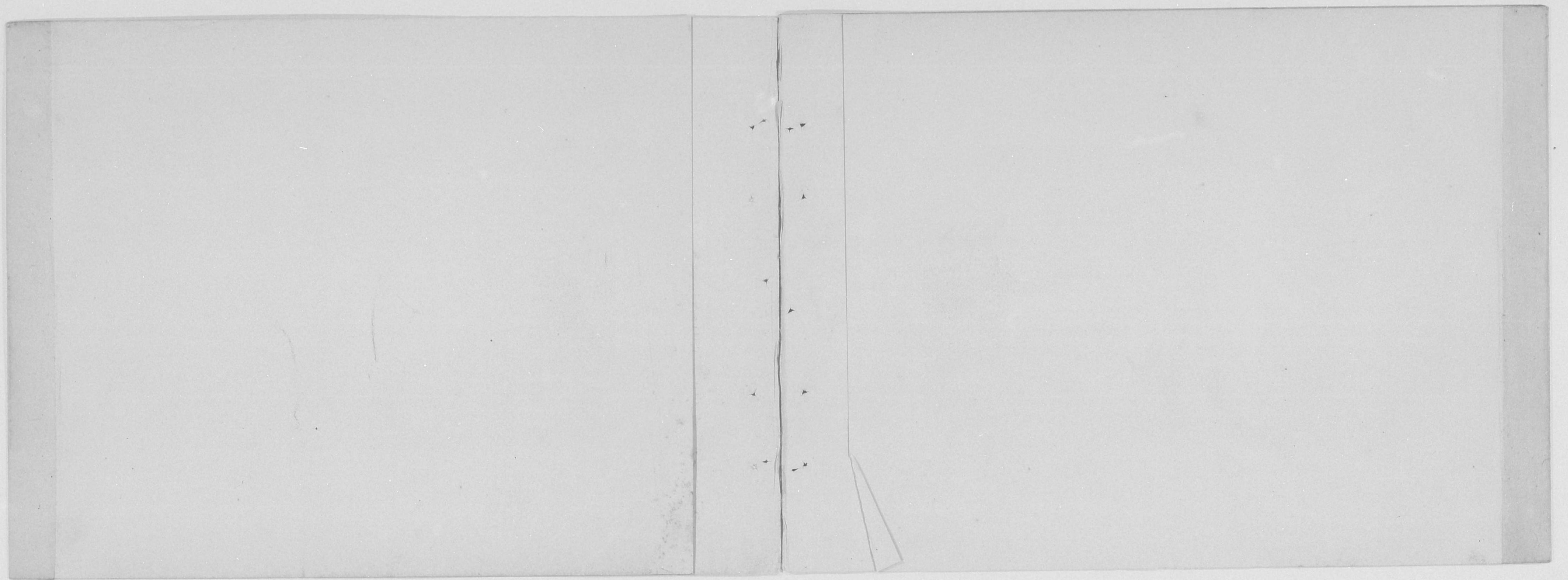
(一 其) 部東幌札ノ年五治明



(二 其) 部東幌札ノ年五治明

明治五年ノ札幌西部

此圖ハ北一條東一丁目ヨリ西ヲ望ミ撮影シタルモノナリ左方板  
塀ヲ繞ラセルハ本陣ニシテソノ右ニ當リ關門アリ町地及官宅地  
ヲ分ツ右方ニアリ土壘ヲ繞ラセル建物ハ官宅ニシテ創成川ノ兩  
畔及北六條通ニアリ其數四十二材料ハ悉ク内地ニ於テ切組ヲナ  
シタルモノヲ用ヒシト云フ當時此ヨリ以西ニ全ク人家ヲ見ス。







(一 其) 部南西幌札ノ年五治明



(二 其) 部南西幌札ノ年五治明

明治五年ノ札幌西北部

此圖ハ創成川ノ畔ヨリ西ニ向ヒ札幌ノ西北部ヲ撮影シタルモノ  
ニシテ北方今ノ農科大學用地及四方今ノ博物館附近一帯ニ鬱葱  
タル樹林アルモ其他ハ草原ニシテ開拓困難ナラサリシト云フ、圖  
中處々ニ點在スル建物ハ官邸ニシテ其敷地ノ周圍ニハ土壘ヲ繞  
ラセリ。



明治五年

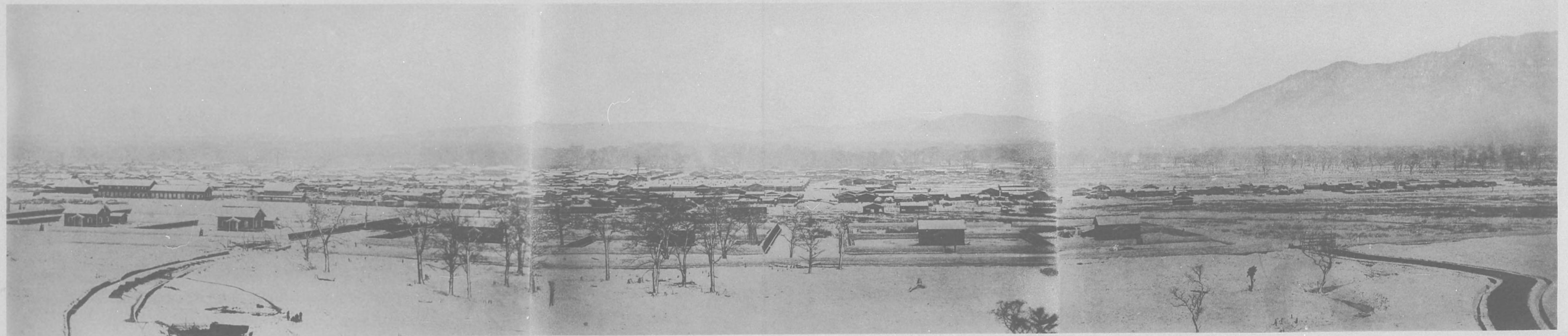


部北西靚札ノ年五治明

ニシテ北方今ノ農科大學用地及四方今ノ博物館附近一帯ニ鬱葱  
タル樹林アルモ其他ハ草原ニシテ開拓困難ナラサリシト云フ、圖  
中處々ニ點在スル建物ハ官邸ニシテ其敷地ノ周圍ニハ土壘ヲ繞  
ラセリ。

明治六年ノ札幌南部

此圖ハ明治六年開拓使廳舎ヨリ南方ヲ望ミタルモノナリ札幌市街ノ開拓ハ明治二年ニ着手シタリト雖モ其最モ經營ニ努メタルハ明治五年、六年ニシテ南一條ノ如キハ西七八町マテ駢ヲ駢フルニ至レリ、圖中近ク見ユル數箇ノ家屋ハ北一條ニ於ケル官邸、左方ニアリテ大通ニ向フニ階家ハ官設ノ模範商家右方ニアリテ遠ク林間ニ白ク見ユルハ東本願寺別院ナリ。



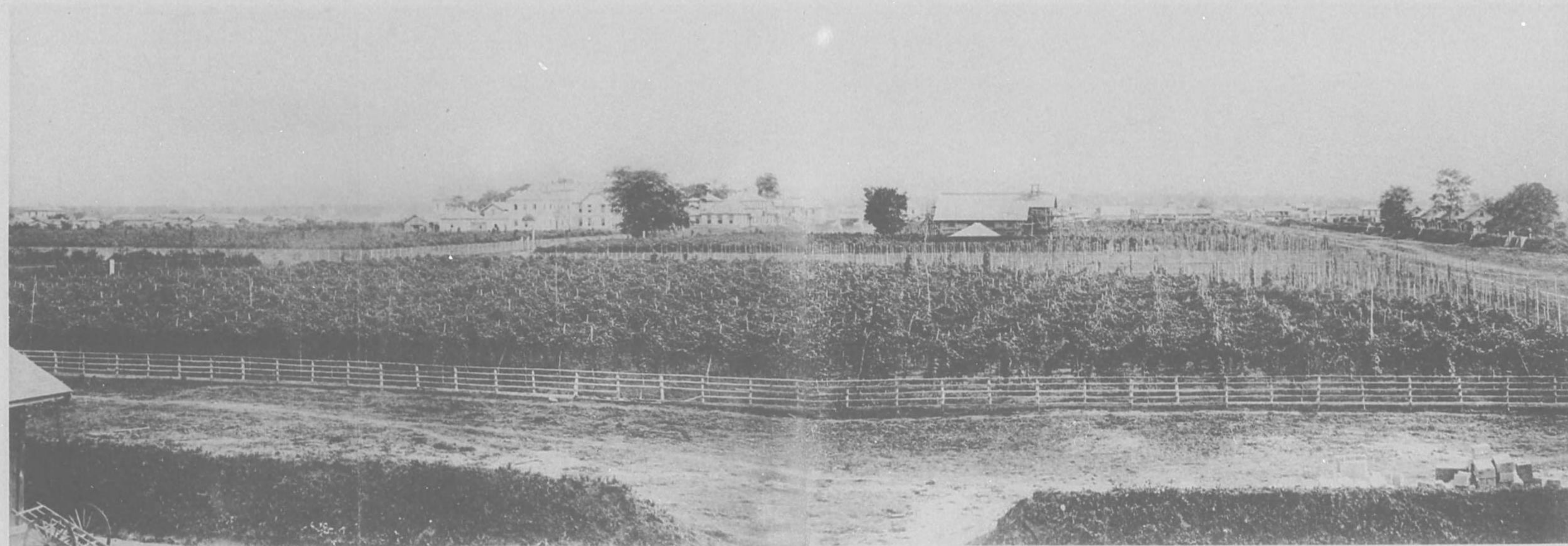
部 南 幌 札 ノ 年 六 治 明

札幌農學校及葎草園

札幌農學校ハ北一條通ト北三條通トノ間西一丁目ヨリ西二丁目ニ跨ル其校舍ハ明治八年ノ建築ニシテ東京芝罘學校ヲ移シ札幌學校ト名ツク同九年八月札幌農學校ト改稱シ大ニ規模ヲ擴張ス葎草園ハ北四條西三丁目ニアリ明治十年ノ創設ニ係リ面積五千五百坪ニシテ米國種及獨逸種ヲ植栽シ十二年更ニ園地ヲ廣メ一萬四千二百六十五坪トナシ四區ニ劃ス。



札幌



園草苺及校學農幌札

ニ跨ル其校舍ヲ明治八年ノ建築ニシテ東京芝罘學校ヲ移シ札幌  
學校ト名ツク、同九年八月札幌農學校ト改稱シ大ニ規模ヲ擴張ス、  
苺草園ハ北四條西三丁目ニアリ明治十年ノ創設ニ係リ面積五千  
五百坪ニシテ米國種及獨逸種ヲ植栽シ十二年更ニ園地ヲ廣メ一  
萬四千二百六十五坪トナシ四區ニ劃ス。



豊平橋

安政四年錢函ヨリ札幌ヲ經テ千歳ニ至ル綫路ヲ開クヤ志村鐵一ナルモノ箱館奉行ノ命ヲ以テ豊平ニ居リ札幌(豊平川)ノ渡船ヲ業トス、明治四年四月ニ至リ開拓使始メテ假橋ヲ豊平ニ架ス、此川洪水毎ニ岸崖崩壞河流變遷、明治九年堅牢ナル橋梁ヲ架スル迄ニ假橋ノ流失數回ニ及フ、此圖ハ明治五年ノ撮影ニシテ川幅ハ今日ヨリモ廣ク川ニハ鮭ノ留網ヲ張リツ、アリ右岸ニ見ユル家ハ安政以來住居セル獵師吉田茂八ノ家ナリ。



豊平橋

平岸村

明治四年開拓使委員ヲ岩手縣ニ派シ伊達將一郎ノ舊家臣七名及農夫四十餘名ヲ以テ歸リ之ヲ豊平橋ノ南ニ居ラシメ又他ニ募ル所ノ十五戸ヲ加ヘテ六十五戸トナシ家屋ヲ建築シテ之ヲ與ヘ米金ヲ給シ開墾ニ從事セシム名ツケテ平岸村ト云フ又麻ヲ多ク作レルヲ以テ俗ニ麻畑ト稱ス此圖ハ開拓當初ノ景ニシテ今ノ豊平市街ヨリ真駒内ニ赴ク道路ニ當リ樹木ハ楡樺槭等繁茂セリ。



平 岸 村

札幌村ノ掘割

慶應二年箱館奉行所ノ雇吏大友龜太郎農夫十餘戸ヲ募リテ今ノ  
札幌村ニ移シ保護シテ荒蕪ヲ開拓セシム又豊平川ヨリ一條ノ溝  
渠ヲ掘リ水ヲ引キテ飲料ニ供ス稱シテ大友堀ト云フ開拓使ノ初  
此溝渠ヲ運輸ノ用ニ供セント欲シ其一部ヲ掘擴メテ舟ヲ通ス此  
圖ハ蓋シ其掘擴メタル部分ヲ寫セルモノトス。



札幌村ノ掘割

篠路村

篠路村ハ札幌ヲ距ル約三里、フシコサツボロ川ノ畔ニアリ安政以  
來農民ノ移住セル所ニシテ豆、麥ヲ産シ且ツ札幌石狩間ノ要路ニ  
シテ水陸運輸ノ便アルヲ以テ明治四年七月開拓使此處ニ醬油釀  
造所ヲ設ケ五年更ニ場屋ヲ築キ機械ヲ整備ス此圖ハ即チ其處ノ  
景ヲ寫シタルモノトス。



篠路村

石狩

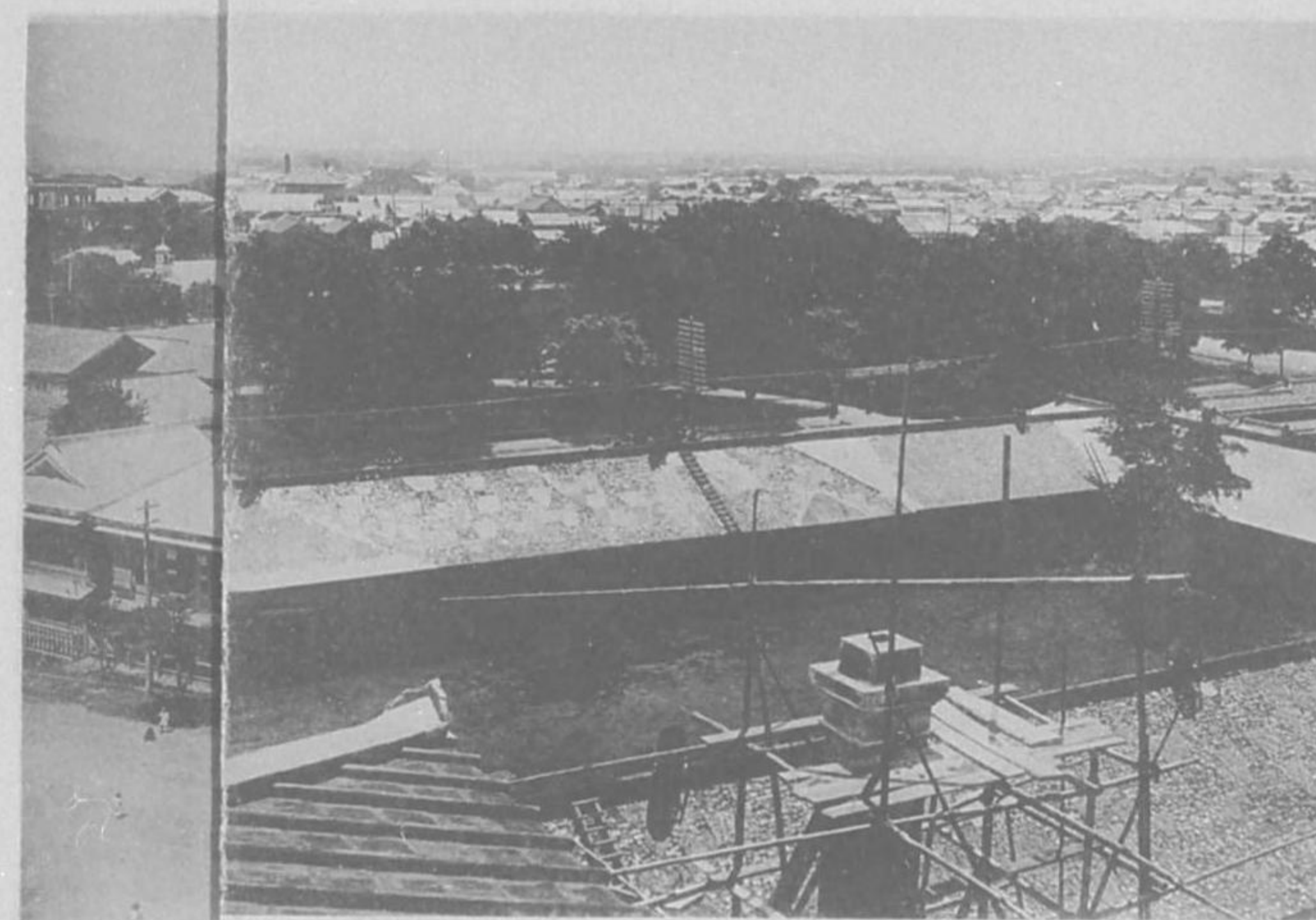
石狩ハ石狩川口ニ位シ古來鮭ノ名所タリ安政三年箱館奉行支配  
調役此地ニ在勤シ翌四年場所請負人ヲ廢シ直捕トナセシヨリ移  
民俄ニ來聚シテ市街ヲ形成セリ、開拓使ノ初出張所ヲ設ク當時札  
幌ノ貨物ハ概ネ此地ヲ經由セシヲ以テ頗ル繁榮セリ圖中一隻ノ  
汽船ト數隻ノ辨財船ノ碇泊セルヲ以テ其一斑ヲ知ルヘシ。

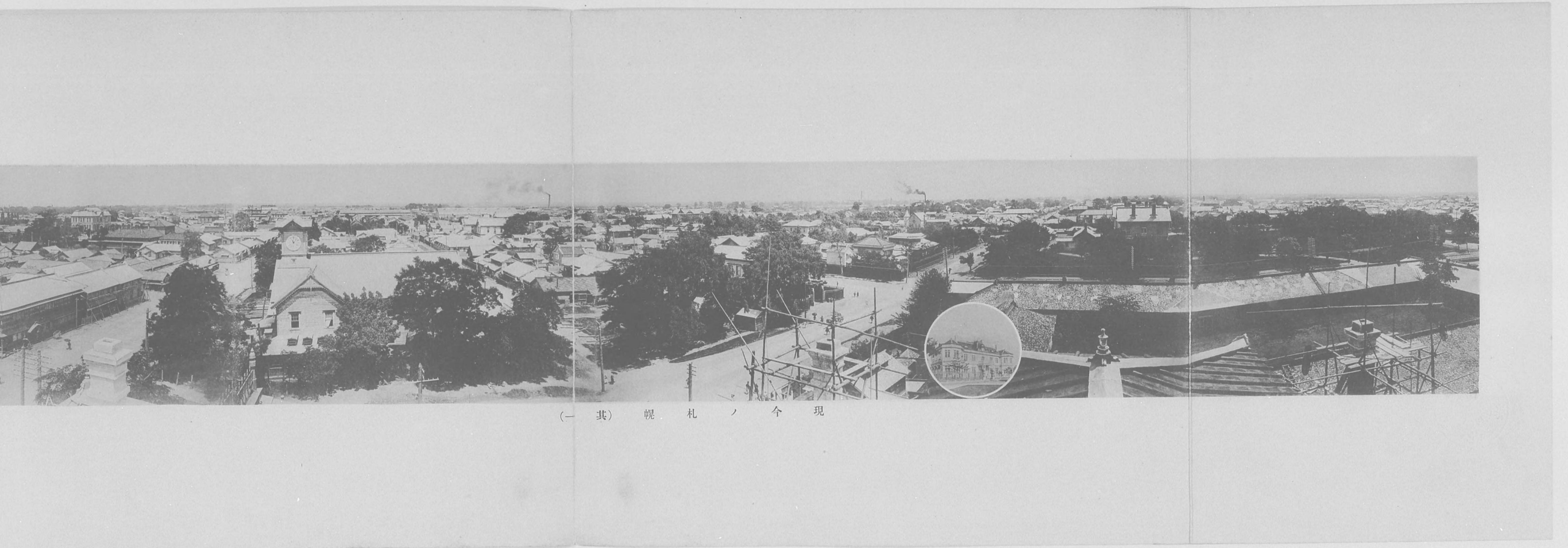


石狩

現今ノ札幌

設置後四十年ヲ經過セル現今ノ札幌ハ戸數一萬一千餘、人口約五  
萬六千ヲ有シ、北海道統治ノ策源地ニシテ、又我國最高學府ノア  
ル所ナリ、圖ハ新築札幌區役所ヲ中心トシテ、全市ヲ展望シタルモ  
ノニテ、圖ノ左端ハ南一條東一丁目ノ方面ニシテ、順次右ニ及ヒ、藻  
巖山方面ヨリ北海道廳方面ニ至リ、農科大學方面ヨリ製麻會社麥  
酒會社方面ヲ經テ大通リ東一丁目方面ヲ以テ終ル所ノ展開全景  
ナリ、右端ニ遠ク見ユル丘ハ第七師團第二十五聯隊ノ所在地、月寒  
ナリ、圓形ヲ以テ加ヘタルハ大通西三丁目公園ニ建設サル、故水  
山將軍銅像ト新築札幌區役所ノ建物ナリ





(一 其) 幌 札 ノ 今 現





(二 其) 幌 札 ノ 今 現





(二 其) 幌 札 ノ 今 現

東北帝國大學農科大學

東北帝國大學農科大學ハ明治四十年六月舊札幌農學校ヲ改メタルモノニシテ農學科農藝化學科畜產學科及林學科ノ四科ヲ置ク、農學科及農藝化學科ハ既ニ大學設立ト同時ニ開講シ畜產學科及林學科ハ明年九月ヨリ授業ヲ開始ス尙本大學ニハ大學豫科土木工學科林學科及水產學科ヲ附屬ス現在職員數八十五名學生生徒數八百二十名ニシテ所有地面積ハ約一億七千六百萬坪ナリ



東北帝國大學農科大學

明治四十二年八月二十八日印刷  
明治四十二年九月一日發行

並製金壹圓參拾錢  
上製金壹圓六拾錢

東北帝國大學農科大學編纂

北海道札幌區南一條西四丁目  
發行者 布川榮輔

東京市日本橋區兜町二番地  
印刷者 神谷岩次郎

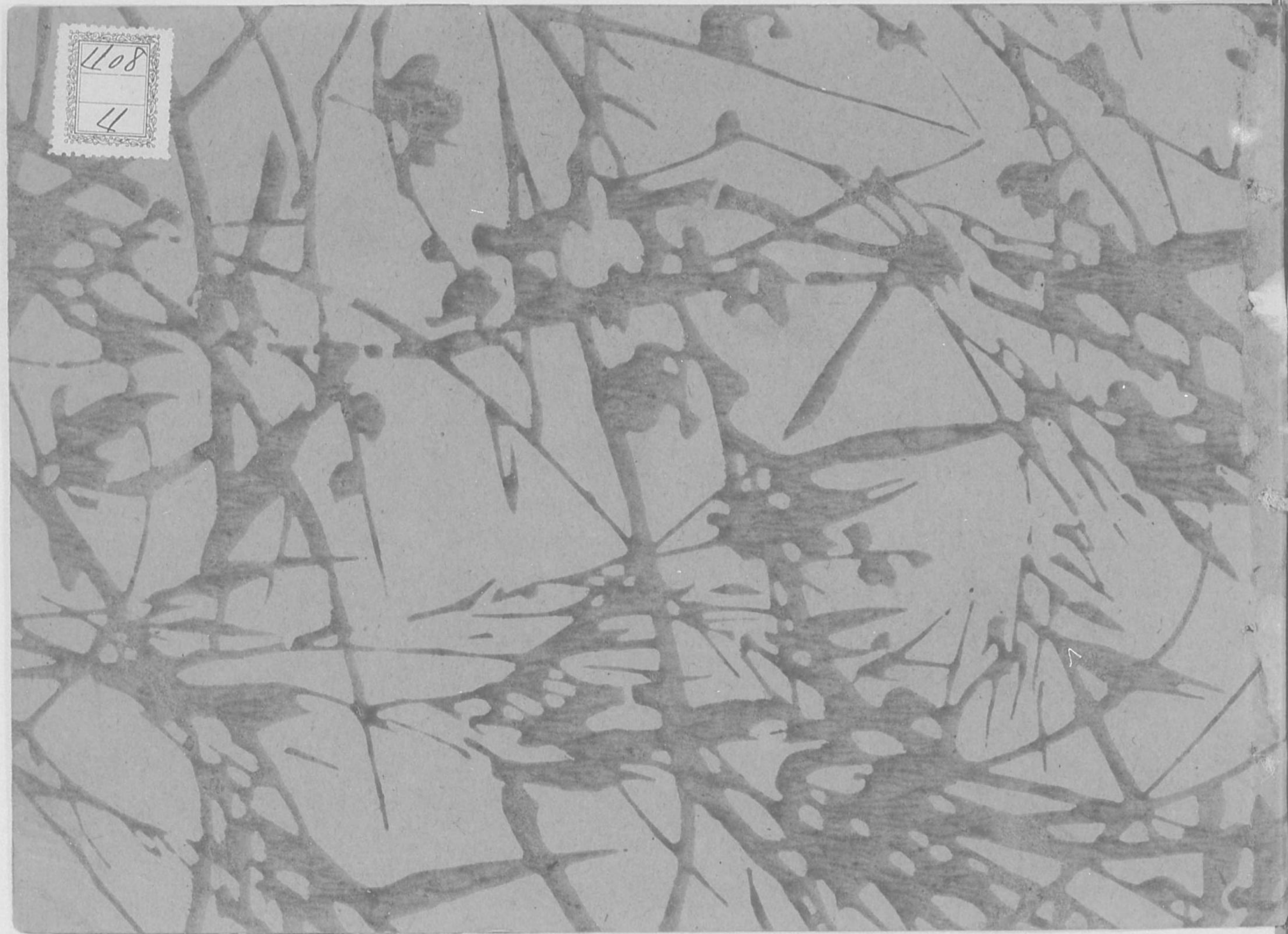
東京市日本橋區兜町二番地  
印刷所 東京印刷株式會社

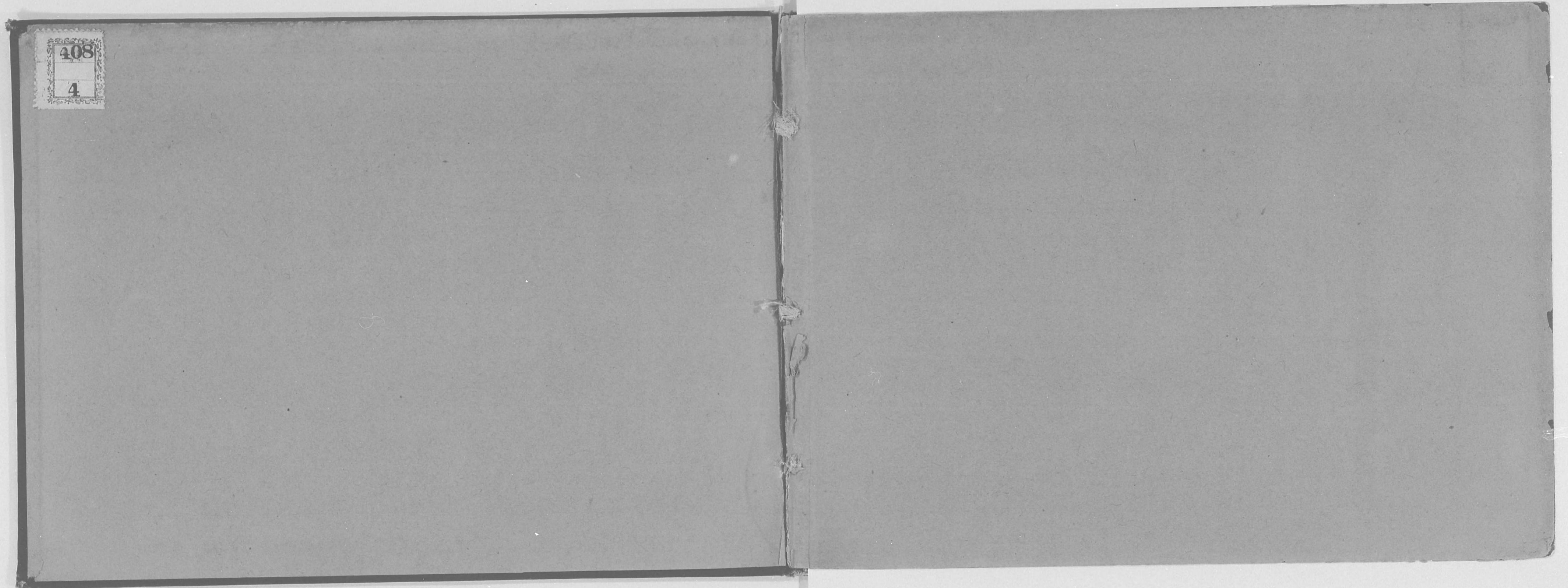
不許  
複製

發行所

北海道札幌區南一條西四丁目  
維新堂書房

電話六百二十三番





408  
4

終